

# 3年間、育んできた「信頼の大樹」。 これからも大きく、その枝葉を広げ

信頼回復に向けて、2010年度より全社的に取組んできたCSR活動。

「すべての人を大切に想う」— そのCSR経営方針のもと、全社一丸となって取組んできた本格的なCSR活動も本レポートは、その取組みの集大成としてのご報告に努めました。月日とともに、着実に広がり始めた「信頼の大樹」これからも、たゆみない努力と新たな挑戦を続け、その枝葉を力強く育てていきます。

## さらなる「復興」へ。

### 事業を通じて継続的な支援を続けていきます。

東日本大震災から2年以上が経過しましたが、未だ被災地では多くの方が厳しい生活を余儀なくされる状況が続いています。防災・減災を担う建設業として私たちは、“安心・安全の確保”を重要課題に掲げ、復旧・復興に携わってまいりました。2012年末の政権交代を期に、経済情勢も少しずつ明るいきざしが見えてくる中で、引き続き「復興」という言葉に応えるべく事業活動を通じ、ご支援させていただく所存です。

## 「中期経営計画2014」にもとづき

### 新たな事業価値の提供をスタートしました。

成長期と位置づけてスタートした「中期経営計画2014」の1年目となった2012年度は、いくつかの課題はあるものの、概ね順調な成果で締めくくることができました。これまでの国内外の土木・建築事業という核に、開発・不動産事業および新規事業を加えることで事業の幅を持たせながら、さらに事業本部制を導入することで、一貫通貫事業モデルを確立し、建造物の企画・設計段階から施工、維持管理を含めた“建造物の一生”をご支援する体制づくりを推進してきました。

新規事業の一環として玉川大学との産学連携により実現した植物工場『Sci Tech Farm(サイテックファーム)』では、LED光源と液体肥料によりレッドファイヤー、グリーンウェーブ、フリルレタスの3種類のリーフレタスが順調に育ち、出荷・販売されています。まさに「食の安

心・安全」のニーズに応える新たな事業価値の提供であると確信しています。

## 大きな節目を迎えた海外事業。

### 今後も事業活動を通じた貢献を目指します。

当社は約140年の長い歴史の中で、海外においても積極的に事業展開してきました。その結果として、2012年には香港進出50周年を迎えることができました。1964年、戦後初の大型海外工事である「ロアシンマングム」をこの地で完成させ、当時の水不足に悩まされていた香港の大きな変革に寄与できたことは、今でも当社の誇りです。50周年の記念式典では、在香港日本国総領事をはじめ関係企業先の皆様をお招きし、これまでのご支援に対し感謝の気持ちをお伝えすることができました。



香港進出50周年式典の様相

さらに、2013年はタイへの進出50周年を迎えます。2011年に起きた大規模な洪水では、現地法人である泰国西松建設(株)の現地スタッフも含めた社員たちが最大限の復旧支援を行いました。

香港とタイにおける事業展開がともに50周年を無

# ていきます。

3年が経ちました。  
の枝葉。



事に迎えられたことは、今後の海外事業の拡大に向けた大きな自信と新たなステップにつながっています。

## 2020年のあるべき姿、長期活動目標「N-Vision2020」の実現に向けて。

中期経営計画2014よりもさらに先、2020年の当社のあるべき姿を「N-Vision2020」として策定し、西松建設のCSR経営方針である「ステークホルダーの皆様とWin-Winの関係を実現する」ための羅針盤として歩みを始めて、3年が経ちました。前回の社員ダイアログを一步前進させ、今回は社外の有識者を招いたステークホルダーダイアログを開催し、新たな気づきや課題をいただきました。このような機会を通じて社外の皆様とのコミュニケーションを続け、N-Vision2020実現に向けたPDCAサイクルを継続し、必要に応じて軌道修正を施しながら最善を尽くす。そうすることで西松建設がステークホルダーの皆様から信頼をいただき、社会から必要とされ、社会の持続的発展に貢献する企業として認めていただけると信じています。そのためにも、このN-Vision2020への取組みを推し進め、当社の隅々にまで浸透させ、その成果を確実にすることが私の大きな使命だと思っています。

一人ひとりが経営者の一員たれ。これは私が全社員に望む基本姿勢です。それぞれが日々の業務において、経営者の立場で判断し、行動する。その心にCSR経営方針があれば、ステークホルダーの皆様とのWin-Winの関係が必ず実現するでしょう。

### 社 是

#### 勇氣、礼儀、正義

～挑戦する姿勢、感謝する気持ち、正しい姿勢～

### 企業理念

培ってきた技術と経験を活かし、  
価値ある建造物とサービスを社会に提供することで、  
安心して暮らせる持続可能な社会・環境づくりに貢献する。

## これまで、これからも。 社員一人ひとりが 真摯にCSR活動に取り組んでいきます。

まだまだ信頼回復の途上である当社は、社是である「勇氣、礼儀、正義」を忘れず、中期経営計画2014を1つのマイルストーンとしながら、N-Vision2020の実現に向けて取り組んでいかなければなりません。その途中経過として進捗状況をご報告する当社のCSRレポートも、今回で第3号を迎えました。読者の皆様には、3年分の想いを感じていただければと思っています。忌憚のないご意見、ご感想をお寄せいただくとともに、なお一層のご支援をよろしくお願いいたします。

代表取締役社長

近藤 晴貞